

## 評価書（事務局案）の補足説明

### I 平成 28 年度の業務実績評価について（1 ページ）

「公立大学法人長岡造形大学 業務実績評価（年度評価）実施要領」を記載。

### II 評価結果

#### 1 全体評価（2、3 ページ）

後述の「2 大項目別評価」及び「3 事業単位・指標単位評価」などを総合的に勘案し、「中期計画の進捗は順調である」と評価した。

#### 2 大項目別評価（4～12 ページ）

○A評価（中期計画の進捗は順調）

「教育」、「研究」、「地域貢献」、「国際交流」

○B評価（中期計画の進捗は概ね順調）

「業務運営」、「財務」、「自己点検・評価及び情報公開」、「その他業務」

○判断基準

大項目を構成する事業単位・指標単位項目に対する a 評価の数で単純に判断するのではなく、事業単位と指標単位の両面から大項目全体を総合的に勘案して評価した。

#### 3 事業単位・指標単位評価（13～32 ページ）

前回、法人から示された「業務実績報告書」の右側に、事務局の評価とコメントを付した。

法人の自己評価と事務局の評価が異なる箇所は、4 か所であり、法人の自己評価が b 評価であったものを a 評価とした。

- ・ 14 ページの No. 4（高校現場からの意見聴取）

新たに県内高等学校長経験者を採用し、延べ 100 校を超える県内高校を訪問し意見聴取を行っている。

- ・ 19 ページの No. 36（企業と学生のマッチング支援）

企業向けのパンフレットの発送企業(396 社増)や、単独企業説明会(20 社増)を、昨年度に比べ大幅に増加させるなど、学生と企業が接する機会を積極的に設けている。

- ・ 19 ページの No. 37（既卒者への就職等支援）

平成 27 年度まで既卒生への組織的な支援は行っていなかったが、平成 28 年度からホームページに既卒生への支援内容を掲載し、組織的な支援を行っている。

- ・ 32 ページの No. 74（自己収入の確保）

受託研究の獲得や授業料、寄附金など、自己収入の確保に取り組んでいる。

## その他

前回の委員会で出された委員からの意見については、以下のように評価に反映した。

- 3 ページの(3)平成 28 年度の特筆すべき取り組み  
志願者数が増加し、志願倍率が6倍に良化したことについて、積極的かつ効果的な広報活動の取り組みを特筆すべき取り組みとして記述した。
  
- 30 ページの No. 68（職員の評価制度）  
職員の能力などを評価して処遇などに反映する仕組みを整備するため、人事考課制度の導入について検討を進められたいとのコメントを付した。
  
- 32 ページの No. 74（自己収入の確保）  
受託研究の獲得や授業料、寄附金など、自己収入の確保に取り組んでいる。今後も策定した長期財政運営計画に基づき、持続的に安定した財政運営に取り組まれたいとのコメントを付した。
  
- 35 ページの No. 91（危機管理マニュアルの整備）  
大規模災害に備え、危機管理マニュアルを早期に策定されたい。マニュアルの策定に当たっては、地域住民の安全確保についても配慮した内容とされたいとのコメントを付した。